

2020年12月4日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

東京瓦斯株式会社が発行するグリーンボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、東京瓦斯株式会社が発行するグリーンボンド⁽¹⁾（10年債、100億円）の引受けにおいて事務主幹事及びグリーンボンド・ストラクチャリング・エージェント⁽²⁾を務め、本日、同グリーンボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

東京ガスグループは、新たな変革の時代において、次世代のエネルギーシステムをリードしながら、価値を創出し続ける企業グループになることを目指し、経営ビジョン「Compass2030」を策定しました。その中で、お客さま先を含めて排出するCO₂をネット・ゼロにすることに挑戦し、脱炭素社会への移行を事業活動全体で牽引するとともに、天然ガス有効利用の技術・ノウハウを、電気・熱分野の脱炭素化やCO₂の回収技術にも活用していきます。また、2030年に向けては、1,000万トン規模の削減に貢献し、地球規模でのCO₂排出削減をリードしていきます。本発行により調達する資金は、再生可能エネルギー事業に関する群馬県安中発電所およびアクティナ発電所にかかる新規投資および既存投資のリファイナンスへ充当することで、事業の持続的な成長とともに、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

本グリーンボンドは、適合性と透明性の確保及び投資家への訴求力向上のため、グリーンボンドの発行のために国際資本市場協会（ICMA）の「グリーンボンド原則（GreenBondPrinciples）2018」、環境省の「グリーンボンドガイドライン 2020年版」および国際NGOであるClimateBondsInitiative（CBI）の「気候ボンド基準 3.0版（ClimateBondsStandardVersion3.0）」に則して策定されたフレームワークに基づき発行され、第三者評価機関であるDNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社からグリーンボンド発行に係る各種基準への適合性についての評価および検証を取得しているほか、株式会社格付投資情報センター（R&I）による「R&I グリーンボンドアセスメント」の最上位評価である「GA1」の予備評価及び、CBIによる認証も取得しています。

2006年に国連責任投資原則（PRI: Principles for Responsible Investment）が制定されて以来、世界のESG投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボン

ド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本グリーンボンドの概要)

名	称	： 東京瓦斯株式会社第 66 回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (グリーンボンド)
発 行 年 限	： 10 年	
発 行 額	： 100 億円	
利 率	： 0.210%	
発 行 日	： 2020 年 12 月 10 日	
償 還 日	： 2030 年 12 月 10 日	
資 金 使 途	： 再生可能エネルギー事業に関する群馬県安中発電所およびアクティナ発電所にかかる新規投資および既存投資のリファイナンス	
取 得 格 付	： AA+ (株式会社格付投資情報センター)	
主 幹 事	： 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社、SMBC 日興証券株式会社	

グリーンボンド・ストラクチャ : 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社
ヤリング・エージェント

- (1) 環境事業に要する資金を調達するために発行する債券。本グリーンボンドは、国際資本市場協会 (International Capital Market Association : ICMA) が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券である旨、第三者評価機関による評価を取得している (第三者評価機関 : DNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社)
- (2) グリーンボンドのフレームワークの策定及びセカンドパーティ・オピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援行う者

以上